

この概要は、令和7年7月11日に開催した茅ヶ崎市景観まちづくり審議会の速報として作成したものです。

詳細については、令和7年8月25日までに公表する予定の会議録でご確認ください。

## 令和7年度 第1回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会 会議概要

日 時：令和7年7月11日（金）

10時00分から12時00分まで

場 所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室5

出席委員：高橋委員 清水委員 神保委員

（WEB会議により出席）三友委員 荒井委員 田邊委員

欠席委員：上野委員

出席職員：【景観みどり課】高山課長 須賀主幹 鶴岡主事 大友主事

【拠点整備課】沼田主幹 木下主査 松波副主査

そ の 他：【大和地所レジデンス株式会社】村上氏、稲荷氏、甲田氏

【株式会社HIRAMEKI】重松氏

【株式会社テトラ開発】井上氏

【UR都市機構】三好氏

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 大和地所レジデンス浜見平地区（J・K街区）土地利用計画について（諮問1号）

資料に基づき事業担当者が説明を行い、今後の進捗状況を報告することとし、審議会です承された。主な意見は以下の通り。

- ・茅ヶ崎のこの地域で大規模なまちづくりを行うということについては、この土地ならではの特色を充分コンセプトに反映させてほしい。
- ・地域のまちづくり推進検討会などにも参加し、前回の審議会より検討を深められた事項（資料1-1）については、検討しますではなく審議会資料に記載を盛り込んでいただきたい。
- ・戸建ての大きなまちづくりを行う中で、企業のブランドメッセージも含めて、未来に向けて子供たちが共感し語れるような街づくりのコンセプト作成をお願いしたい。また、フットパスの植栽計画・維持管理についても4年かけて次世代のコミュニティづくりの繋ぎ手となっていただきたい。
- ・茅ヶ崎市景観計画に記載されている目標に紐づけて、開発企業としてのブランド自体は前面に打ち出しながらも、この場所に住まう人々が茅ヶ崎らしい生活を楽しんでいく一つのストーリーのようなプロモーションをぜひ提案していただきたい。
- ・開発企業としては、新しい街区の各々の土地の部分を含めた全体的な雰囲気の中でまとめ、それを一定時期管理し、さらに次世代の担い手に繋いでいくという非常に難しい立ち位置であることを理解している。その中で茅ヶ崎市景観計画をこれまで以上に引き上げるようなイメージを持って、市とのやり取りを繰り返しながら、茅ヶ崎らしく屋外でのくらしを楽しんでいる雰囲気のある良いまちづくりを目指して欲しい。

#### (2) 茅ヶ崎市商店会等街路灯へのフラッグ広告掲出に係るガイドライン（案）（諮問2号）

資料に基づき事務局が説明を行い、審議会です承された。主な意見は以下のとおり。

- ・バナーフラッグ自体については、掲出制限のある中イメージを伝える媒体としての役割であると考え、その中で経験値を積み上げることにより、デザインの内容についても取捨選択していき、良いものになっていくことを期待する。
- ・著作権や肖像権については、各商店街でまずは検討してもらおうということだが、問題とならないようよく確認してもらいたい。
- ・エリアマネジメント広告の掲出について認め、活動を支援していくのであれば単なる許可を出すというだけでなく、地域のクリエイターとのコラボレーションや、商店街への関心を高めることなどより広い視野を持った広がりのある広告の可能性について検討してもらいたい。
- ・地域を盛り上げる手段として良いと思う。現在はフラッグ広告掲出機能のある商店会が市北側に見られないので、また他のエリアについても可能性を広げていくようなプロモーション等を検討してもらえたらと思う。

### 3 報 告

#### (1) 2024年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について

資料に基づき事務局が説明を行い、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・定点観測は前回と変化がなかったから良かったという流れになっているが、景観計画は生物多様性と連動させているので、その視点からみると特に谷戸とか里山などは手を入れていく（変化する）から良いというものもある。生態系の効果を考えると、里山の風景を留めておくために維持管理していきたいという思いがあると思う。定点観測の評価を人と環境の関係性から考えてみるのも良いと思う。
- ・写真が多くビジュアルで訴えていて分かりやすい。
- ・変わらないことにも意味があるし、都市部は変わって良くなったという考えもある。定点観測は前年度との比較になっているが、評価期間の初年度との比較をしてみると見え方がかわってくると思うので、どのような良い点があったのか比較してみるのも良いのでは。
- ・最初に今年度のトピックや評価をもってくることで、読物としても見やすいし市民が見たときに成果がわかり応援しやすいものになると思う。
- ・報告書は市民が見るものなので、理解を促し景観計画を推進するための後押しをしてもらえるようなメッセージを込めるといい。また、後々の取り組みに向けての財産になるので、活動の記録という記録書としての意味合いも大事にしてほしい。
- ・見やすさというものは正解がないため、引き続き時代に応じたアップデートをできればよい。

### 4 その他

次回審議会の日程等について報告を行った。

### 5 閉 会